

(報道各社への取材の御案内)

～大正時代、うきはに誕生した**農民劇団「嫩葉会」と野外円形劇場**～ **発掘後、復元された“野外円形劇場”の披露**

大正 12 年 (1923) に結成された農民劇団「嫩葉会(わかばかい)」は山春村の医師安元知之 (やすもと・ともゆき) 氏の下に集まった青年達が、修養と娯楽を求めて結成した日本初ともいわれる農民劇団。

活動は 4 年と短いものだったが、菊池寛の文芸作品やオリジナル脚本などで地元のみならず日田や久留米で公演活動を行った。

大正 14 年 (1925) に完成した現在の「道の駅うきは」敷地内にある野外円形劇場は平成 27 年 5 月に発掘され、当時の姿がほぼ残されていることが分かった。

その後、保存と活用を図るための整備を行い今年完成したことから、地元関係者などに披露を行う。

・日時 12月21日(木) 午後2時から (1時間程度)

- ・場所 道の駅うきは敷地内 (雨天の場合は道の駅会議室)
- ・内容 嫩葉会と円形劇場について (歴史を説明するための市民による劇も披露)、山春小学校児童によるリズムダンスほか

●問い合わせ うきは市教育委員会生涯学習課文化財保護係 Tel0943-75-3343



▲「嫩葉会」主宰 安元知之 氏



▲ 上演の様子



▲「円形劇場」の建設の様子



◀ 大正 14 年 (1925) に完成した「道の駅うきは」敷地内にある野外円形劇場は、平成 27 年に発掘され、当時の姿がほぼ残されていることが分かった。

発掘された「円形劇場」(石が積まれた半円形の部分が舞台で、傾斜地を客席にして筑後平野を一望できる開放的な作りである。(平成 27 年 7 月撮影)

編集: うきは市総務課広報係 (Tel0943-75-4980)

※FAX を手にとられた方は、「うきは市ホームページ」掲載のカラー版を御覧ください→検索 うきはブランド通信

2017. 12. 13 発表 / 大正時代、うきはに誕生した農民劇団「嫩葉会」～発掘後、復元された「野外円形劇場」の披露